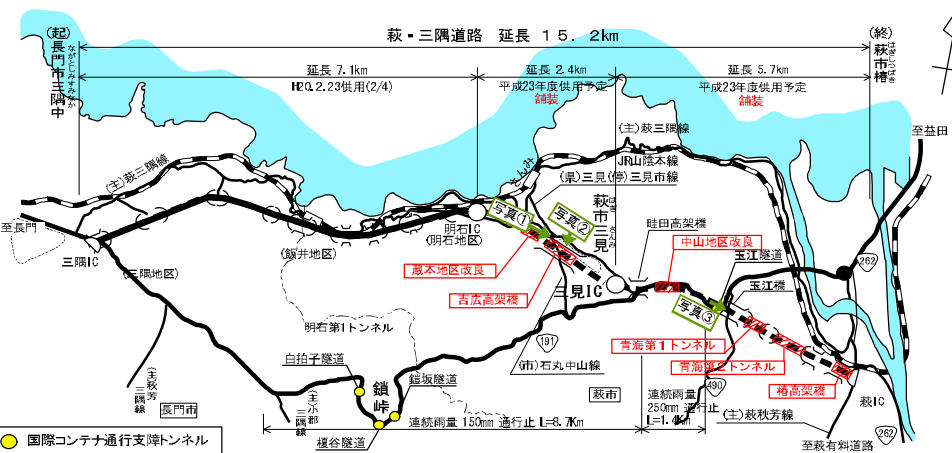
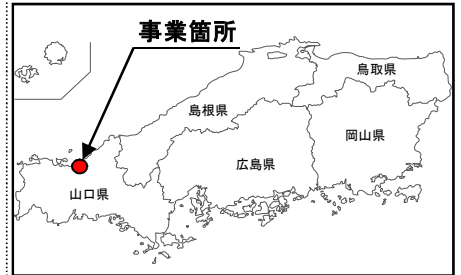


一般国道191号 萩・三隅道路

一般国道191号萩・三隅道路は、現道隘路区間の解消及び冬期交通の安全確保を目的とした、山口県長門市三隅中から萩市椿に至る延長15.2kmの道路であり、平成19年度までに三隅IC～明石IC間延長7.1kmが開通(2/4車線)しています。

平成22年度は道路改良(蔵本地区・中山地区)、橋梁(吉広高架橋・椿高架橋)、トンネル(青海第1トンネル・青海第2トンネル)、舗装等を推進し、平成23年度の開通を目指します。



現道状況



●現道(国道191号鎖峠)の災害状況



●現道(国道191号鎖峠)の冬期状況

工事進捗状況



H22.10撮影



H22.10撮影



H22.9撮影

写真① 蔵本地区付近(改良区間)

写真② 吉広高架橋

写真③ 玉江橋

※未供用区間のIC名称及び構造物名称は全て仮称

期待される整備効果

効果1) 『山陰側への所要時間が大幅に短縮』

萩・三隅道路を含む山陰道のネットワークの形成により、大幅な所要時間の短縮が期待されます。

山陰道(萩～下関間)の整備による所要時間の短縮



山陰道整備後 約1時間

現況所要時間 約2時間

所要時間 1時間短縮

萩・三隅道路の整備による所要時間の短縮

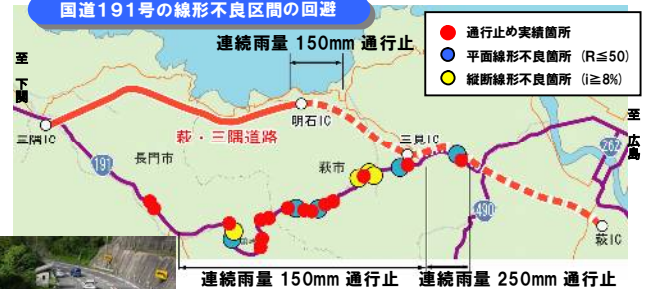


※区間：長門市役所～萩市役所
※現況：H1道路交通センサスピーク時旅行速度を用いて算出。
※将来：萩・三隅道路における走行速度を80km/hとして算出。
※資料：国土交通省 山口河川国道事務所

効果2) 『線形不良区間の回避』

国道191号の現道区間は、線形不良区間が集中している上、異常気象時通行規制区間が存在しています。萩・三隅道路の整備により、線形不良区間等を回避すると共に、代替道路が確保され、信頼性の高い道路網が形成されます。

国道191号の線形不良区間の回避



● 通行止め実績箇所
● 平面線形不良箇所 (R≦50)
● 縦断線形不良箇所 (i≧8%)

連続雨量 150mm 通行止 連続雨量 250mm 通行止



■平面線形不良区間